

No.	114	<h1>天体観察</h1>			
概要	○天体望遠鏡を使い、月や星などを観察する。荒天時は、画像や映像を見ながら天体についての話を聞く。				
内容	人数(人)	~40人	時間	1~2時間	
	対象	小4以上	時期	通年	
	場所	研修室、屋外、体育館、多目的ホール			
	指導形態	自主活動		事前の説明のみ	
安全管理	引率者による監視				
ねらい	○実際に星空を見ることによって星への関心を高める。 ○天体について見たり聞いたりすることで神秘の世界を感じる。 ○器具の扱いになれる。				
準備	施設から貸出	・天体望遠鏡、三脚 ・懐中電灯			
	団体で準備	・寒い時期は防寒具 ・懐中電灯、虫よけ			
	確認事項	・研修者の安全管理については団体の責任で行い、話の聞き方等も事前に指導しておく。 ・荒天時は、研修室等で、天体についての学習をする(パソコン、スライド等を利用) ・講師が対応できない場合は、実施しない。			

	内 容	留 意 事 項
活動前	<実施判断、事前準備>(当日、実施までに) ・講師と本施設職員で実施判断をし、天体望遠鏡等の準備をする。 <職員との打ち合わせ> ・集合場所と時刻の確認	<実施判断> ・講師と相談の上、天候の状況などにより、活動場所と内容が変わる場合がある。
活動の説	<団体担当者による説明> ・あいさつ ・講師の紹介	・団体が必要に応じて説明内容を加えるとよい。 ・望遠鏡の近くを走り回ったりすることのないよう、安全には十分注意する。
展 開	○研修室に集合 ・はじめのあいさつ ・講師紹介 <講師による説明> 天体望遠鏡による星の観察(荒天時は天体の講話) ○感想発表 ○お礼のあいさつ ○研修室の片付け、掃除、道具の返却	・全体の進行は、引率者が行う。 ・観察をして発見したことや驚いたこと、感じたことを発表し合うとより学びを深めることができる。 <天体望遠鏡等器具の片づけ> ・講師と職員が活動終了後に片付ける。



望遠鏡